

京都きもの友禅株式会社

2014年3月期 第2四半期決算説明会

■ 振袖を入口とした呉服販売

- 成人式対象者を新規客として毎年獲得
- 振袖44%、一般呉服42%、宝飾10%、レンタル4%(13/3期実績)

◆ 現金買取方式による安価な仕入

- 一流メーカーと直接交渉の上、高品質な商品を大量発注

◆ DMを中心とした効果的な集客

- 2013年成人対象女性:約59万人(内、当社商圈人口:約50万人)

◆ オフィスビルを中心とした出店で出店費用を圧縮

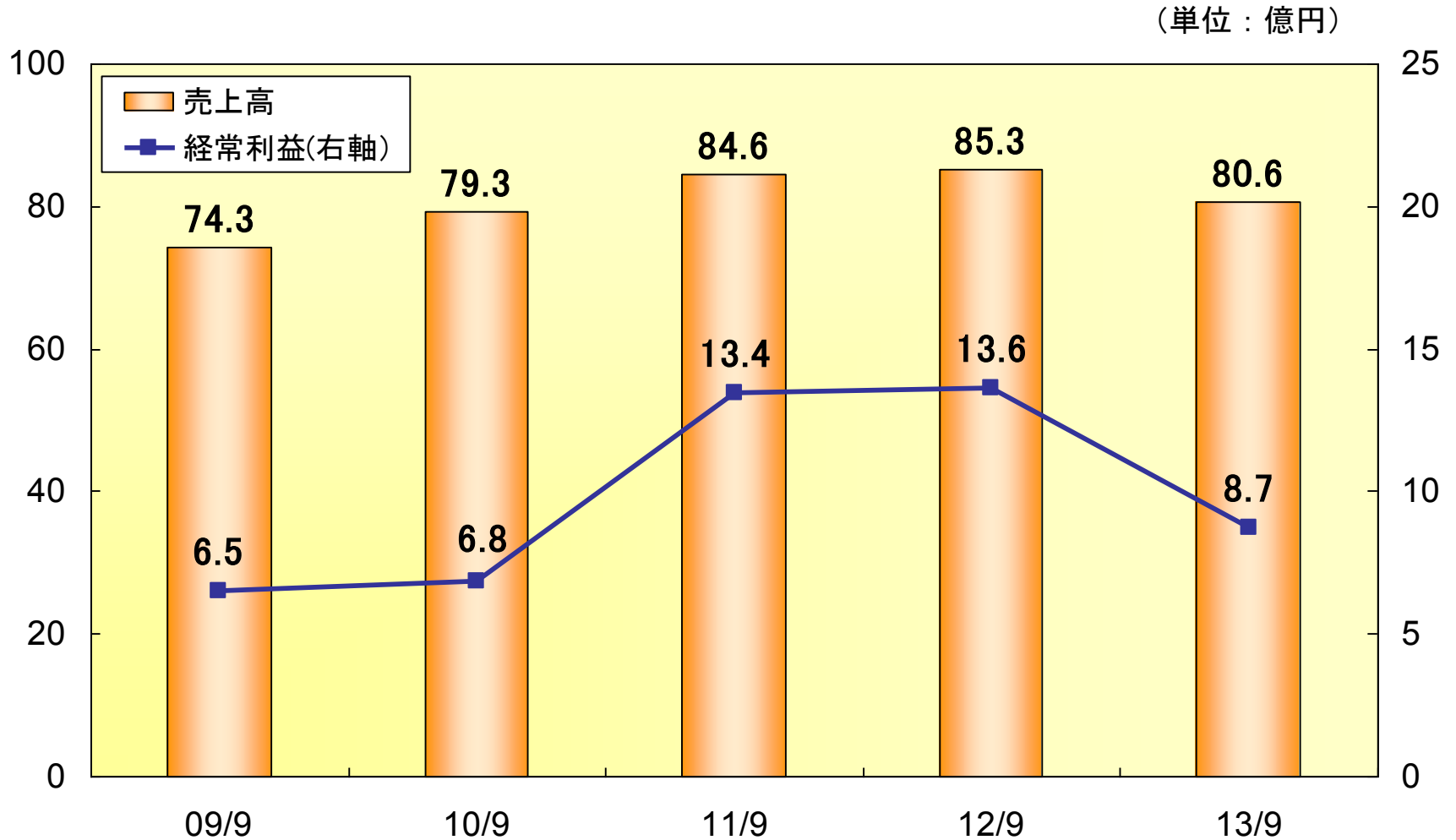
- 1店舗当たりの出店コストは駅ビル等の1/2~1/3程度

■ 友の会制度を中心とした優良顧客の確保

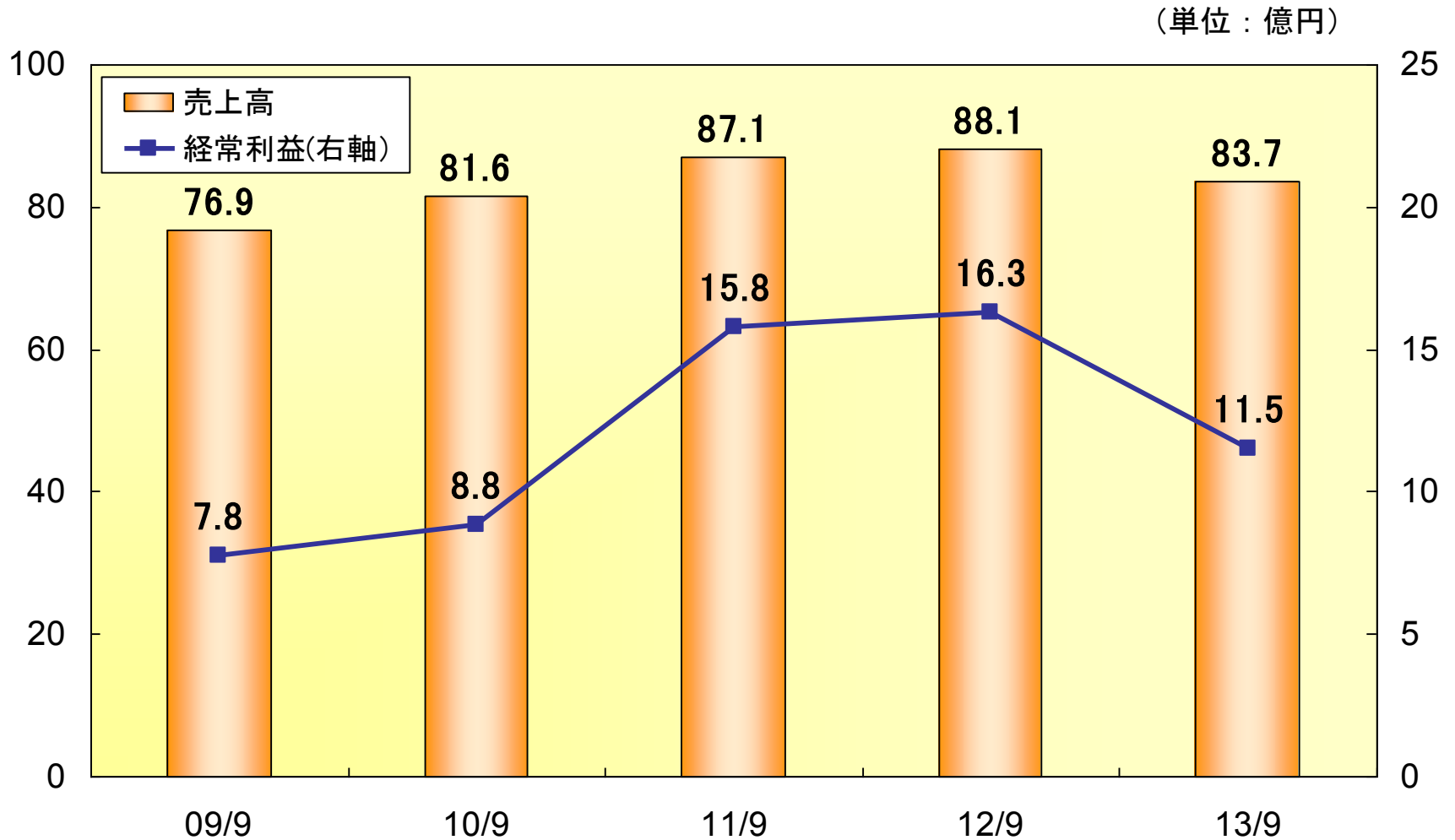
- 振袖購入者の母親を中心に約51%が友の会へ入会

2014年3月期 上半期概要

上半期概要－ ①業績の推移（単体）（金融サービス事業除く）



上半期概要－ ②業績の推移（連結）



上半期概要一 ③損益抜粋（単体）（金融サービス事業除く）

（単位：百万円、％）

	2012/9実績		2013/9実績		前年比	2013/9当初計画		計画比
		売上比		売上比			売上比	
受注高	8,627		8,087		93.7	9,230		87.6
売上高(出荷高)	8,527	100.0	8,063	100.0	94.6	8,750	100.0	92.1
売上総利益	5,486	64.3	5,158	64.0	94.0	5,569	63.6	92.6
販管費	4,165	48.8	4,334	53.8	104.1	4,611	52.7	94.0
内) 広告・販促	1,378	16.2	1,517	18.8	110.1	1,562	17.9	97.1
人件費	1,769	20.8	1,813	22.5	102.5	1,881	21.5	96.4
営業利益	1,322	15.5	824	10.2	62.3	958	10.9	86.0
営業外損益	39	0.5	50	0.6	128.9	33	0.4	151.6
経常利益	1,361	16.0	874	10.8	64.2	991	11.3	88.2
特別損益	△ 7	△ 0.1	△ 4	△ 0.1	58.2	△ 11	△ 0.1	37.3
四半期純利益	837	9.8	539	6.7	64.4	568	6.5	94.8

- 受注高……………「振袖」及び「一般呉服」受注が減少したことにより、前年比△6.3%。
- 広告費……………振袖DMの強化に伴う費用の増加を主要因として、上期累計では前年比+124百万。
- 販促費……………呉服催事経費の増加により、上期累計では前年比+15百万円。
- 人件費……………期中平均人員数(前年同期比+35人、計画比△8人)

上半期概要一 ④損益抜粋（連結）

（単位：百万円、％）

	2012/9実績		2013/9実績		前年比	2013/9当初計画		計画比
		売上比		売上比			売上比	
受注高	8,914		8,393		94.2	9,533		88.0
売上高(出荷高)	8,813	100.0	8,369	100.0	95.0	9,053	100.0	92.4
売上総利益	5,682	64.5	5,367	64.1	94.5	5,777	63.8	92.9
販管費	4,079	46.3	4,255	50.8	104.3	4,520	49.9	94.2
内) 広告・販促	1,382	15.7	1,521	18.2	110.0	1,567	17.3	97.0
人件費	1,776	20.2	1,820	21.8	102.5	1,888	20.9	96.4
営業利益	1,603	18.2	1,112	13.3	69.4	1,258	13.9	88.4
営業外損益	28	0.3	39	0.5	135.5	21	0.2	188.4
経常利益	1,631	18.5	1,151	13.7	70.5	1,278	14.1	90.0
特別損益	△ 7	△ 0.1	△ 4	△ 0.0	58.2	△ 11	△ 0.1	37.3
四半期純利益	998	11.3	699	8.4	70.0	734	8.1	95.3

1株利益(EPS)	68.17円	47.75円	70.0	50.12円	95.3
------------------	--------	---------------	------	--------	------

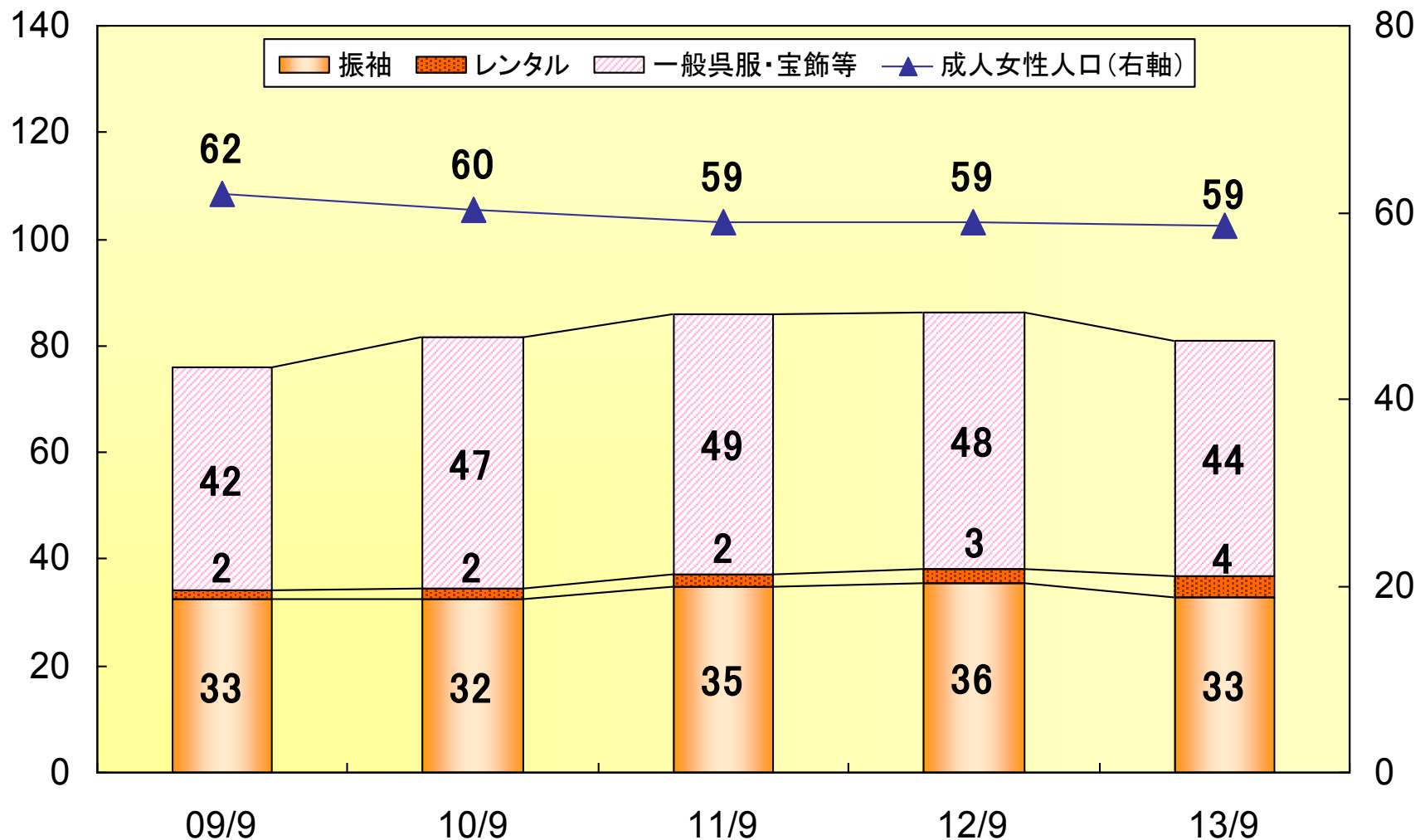
※ 金融サービス事業および連結子会社の連結損益への影響額

- 金融サービス事業： 売上高 【+340百万】、営業利益 【+255百万】
- 友の会： 売上高 【△ 34百万】、営業利益 【+ 36百万】

上半期概要－ ⑤受注構成の推移

受注高 (億円)

人口 (万人)



(単位：人、百万円)

		2012/9	2013/9	増減
会 員 数		68,444	72,588	+ 4,144
利用 状況	会員による受注高	1,179	1,122	△ 57
	一般呉服等の受注全体に 占める比率	24.6 %	25.4 %	+ 0.9 pt
	平均購入倍率	3.4 倍	3.3 倍	△ 0.1 pt
積立残高総額		3,487	3,640	+ 153
内)積立完了未使用		2,660	2,779	+ 119
未使用の比率		76.3 %	76.3 %	+ 0.1 pt

- 入会率の向上に伴い、入会件数は前年比+2.7%。(入会率：50.7% 前年比+ 6.2pt)
- 会員受注高については、利用件数が△2.5%となったことに伴い、前年比△4.9 %。

2014年3月期 通期見通し

（単位：百万円、％）

	2013/3 実績		2014/3 計画		前年比
		売上比		売上比	
受注高	16,082		17,700		110.1
売上高(出荷高)	16,087	100.0	17,700	100.0	110.0
売上総利益	10,330	64.2	11,242	63.5	108.8
販管費	8,288	51.5	9,010	50.9	108.7
内)広告・販促	2,730	17.0	2,986	16.9	109.4
人件費	3,528	21.9	3,763	21.3	106.7
営業利益	2,042	12.7	2,232	12.6	109.3
営業外損益	84	0.5	66	0.4	78.4
経常利益	2,126	13.2	2,298	13.0	108.1
特別損益	△ 1,061	△ 6.6	△ 23	△ 0.1	—
当期純利益	235	1.5	1,319	7.5	462.2

- 振袖・呉服ともに来店者数・集客数の増加を図るとともに、販売内容(成約率・単価)の改善についても取り組み、受注高の確保を計画。

→ 現時点における通期見通しについては当初の計画どおり。

通期見通しー ②通期計画 (連結)

(単位：百万円、%)

	2013/3 実績		2014/3 計画		前年比
		売上比		売上比	
受注高	16,685		18,331		109.9
売上高(出荷高)	16,689	100.0	18,331	100.0	109.8
売上総利益	10,746	64.4	11,681	63.7	108.7
販管費	8,137	48.8	8,847	48.3	108.7
内) 広告・販促	2,738	16.4	2,995	16.3	109.4
人件費	3,542	21.2	3,777	20.6	106.6
営業利益	2,609	15.6	2,834	15.5	108.6
営業外損益	64	0.4	42	0.2	66.3
経常利益	2,672	16.0	2,876	15.7	107.6
特別損益	△ 1,061	△ 6.4	△ 23	△ 0.1	—
当期純利益	561	3.4	1,654	9.0	294.6

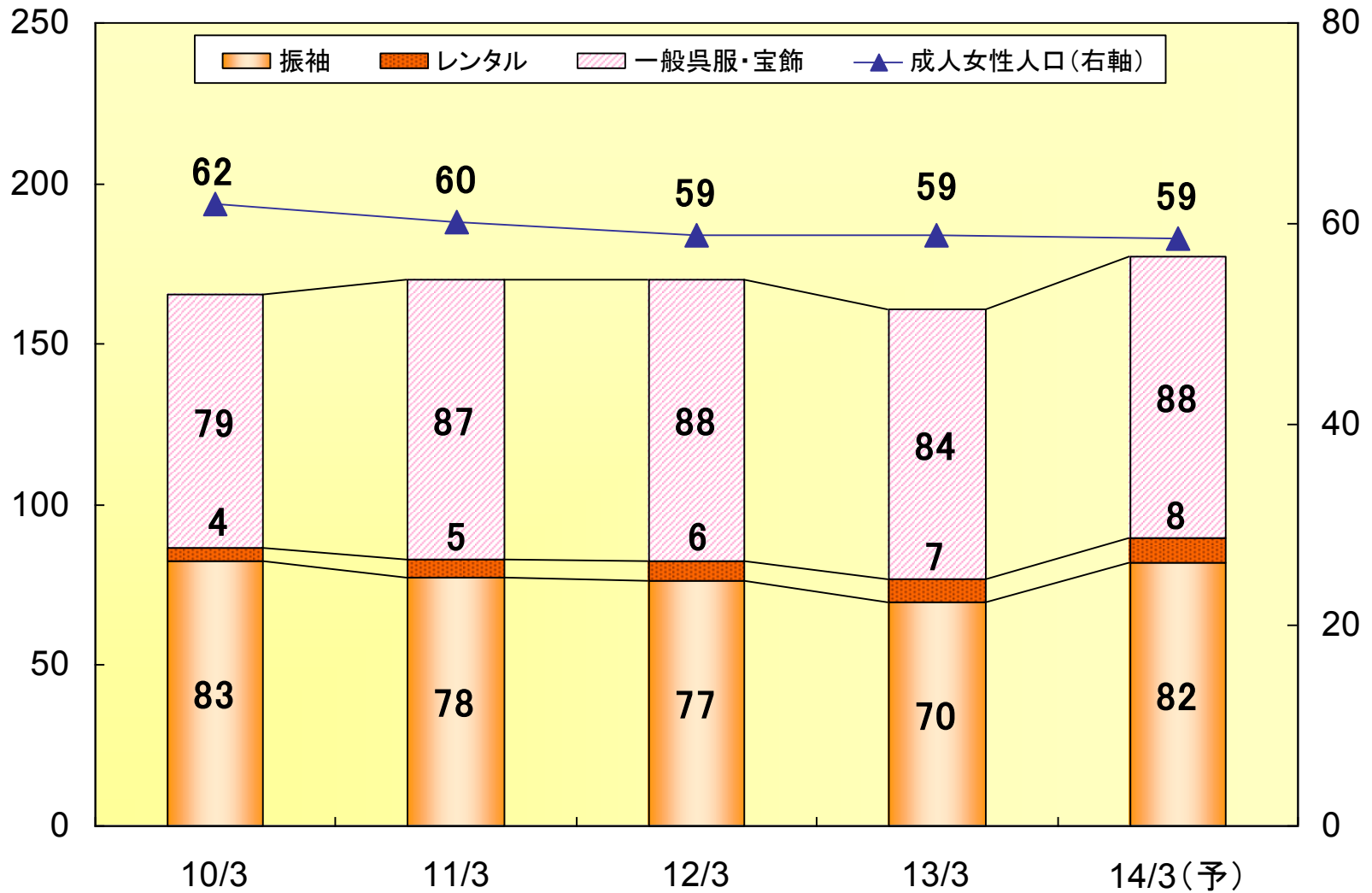
1株利益(EPS)	38.34円		112.94円		294.6
ROE	5.0%		14.2%		
1株当たり年間配当金	42.00円		42.00円		

※ 金融サービス事業 寄与額 売上高：+696百万円、営業利益：+533百万円

通期見通しー ③受注構成の推移

受注高 (億円)

人口 (万人)



《振袖について》

- ◆ 各エリアの集客状況をきめ細かく検証し、広告内容(媒体形態、アプローチ時期、回数等)を継続的に改善。
- ◆ 成人対象者データベースの構築を強化(データ保有企業との提携を含む)。
- ◆ 既存顧客および取引美容室・写真館等からのご紹介による受注を促進。

《一般呉服について》

- ◆ 継続的に、魅力ある新たな催事の拡充を行い、既存顧客全体の更なる活性化を図る。
- ◆ 友の会への入会率については近年、高い水準まで向上してきている為、今後は会員受注高の増加に、より一層注力していく。
※下期においては休眠会員の活性化に主眼をおいた催事も開催予定。
- ◆ 各催事の費用対効果を細かく検証し、経費の見直し・削減を通じた収益性の向上を図る。

《人材確保・育成について》

- ◆ 販売員数については一定の確保が出来たため、今後は教育・研修を更に強化し、振袖・呉服ともに、成約率・平均単価等の改善を図っていく。
- ◆ 各店舗の規模(保有顧客数、振袖来店者数等)を考慮した上で、会社全体として最大限のパフォーマンスを出せるよう、店長を中心とした人員配置について継続的に改善を図る。

注意事項

本資料に記載されている将来の見通しに関する数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

これらの見通しは様々なリスク及び不確定要因を含んでおり、実際の業績は異なる結果となる可能性がございます。